

幼稚園運動会開催

9月27日、秋晴れの青空の下、運動会が開催された。保護者や兄弟姉妹、祖父母が来場し、元気いっぱいに頑張る園児たちの姿が見られた。

「かけっこ」に参加した園児は、原田善教理事長、大西晴樹院長、伊藤寿隆法人事務局長からかけてもらったメダルを友達と見せ合ったり、思った色のメダルがもらえず悔しがったりしていた。満3歳の親子競技「りんごの木になあれ」では、一番年下の園児のかわいらしい姿に来場者から温かい声援が送られた。年少親子競技「大玉転がし」や年中親子競技「デカパン競争」は園児も保護者も和やかな雰囲気の中で行われた。一方、年長親子競技の「おんぶ騎馬戦」では相手の帽子を取るために機敏に動いたり、後ろから静かに相手に

近づいたりと作戦をたてる親子もいて、真剣勝負を思わせる場面が見られた。保護者競技「つなひき」には多くの父親が参加し、力強い掛け声や綱を引く姿に園児らは大興奮。「ダンス」には全園児が参加し、曲に合わせてポンポンを手に笑顔いっぱいで踊っていた。最後の競技「年長リレー」では、バトンをつないで心をつなげて力いっぱい走る姿に観客から熱い声援が送られた。

閉会式では頑張った園児たちに大きな拍手が送られ、運動会は終了した。



大学泉キャンパス二号館に校舎を移転してから初のオープンキャンパスは、定員四百組のところ五百五十組の事前申し込みがあり、同校への関心の高さがうかがえた。

全体説明会は二つの大教室で同時に実施。高校の沿革やキリスト教主義に基づいた人格教育について触れつつ「不易と流行を大切にしながら、予測不能な時代の中でもたくましく、しなやかに対応できる人材の育成に力を入

八月二十三日、受験を考える中学生と保護者を対象に東北学院榴ヶ岡高等学校でオープンキャンパスが開催された。

さらに「特別進学」「TG選抜」総合進学「の二コース制導入が七年目、進学重視型単位の導入は三年目を迎え、国立大学合格者数が増加するなど進学実績が伸びていることを説明した。また各コースの代表生徒が加わり、日頃の学習内容や学校行事、部活動など高校生活の魅力について生の声を届けた。

オープンキャンパス開催



実践的な「英語」や、基本的な知識にクイズを織り交ぜて進める「聖書」に分かれて行われた。部活動見学は生徒の活動の様子を身近に感じる貴重な機会となった。

参加した中学三年生は「入学後も勉強を頑張りたい」と関心を寄せた。

定員を超えた百五十組の申込者には、翌週以降の個別相談会を臨時のオープンキャンパスを実施した。

「T G選抜」総合進学「の二コース制導入が七年目、進学重視型単位の導入は三年目を迎え、国立大学合格者数が増加するなど進学実績が伸びていることを説明した。また各コースの代表生徒が加わり、日頃の学習内容や学校行事、部活動など高校生活の魅力について生の声を届けた。

九月五日と六日、東北学院中学校・高等学校で第六十六回学院祭開催

学院祭が開催された。今年のテーマは「笑顔満祭」。文字通り全校生徒はもちろん、来場したすべての人が笑顔に満ちあふれる学院祭になることを表現した。

初日の午前中は在校生向けのプログラムが組まれ、礼拝堂で開会式や音楽部、放送部、ディベート部などが活動の成果を発表した。保護者と同校関係者が来場した午後、礼拝堂でチャームデザインチーム「Luminas(ルミナス)」がパフォーマンスを披露し、野外ステージではカラオケ大会も行われた。二日目は早い時間

東北学院榴ヶ岡高等学校の第五十六回榴祭が、九月五日、六日に開催された。大学泉キャンパス二号館に移転後、初の開催となった今回のテーマは「楽しめないようじゃ無理か 榴祭はね楽しまないと」。生徒たちの中にあるエネルギーを呼び覚まし、年に一度のビッグイベントを思い切り楽しもうという思いが込められた。

在校生を対象とした初日は、合唱曲からバンド曲まで幅広く演奏する音楽部のコンサートや、ヒップホップを中心に選曲や振り付けなどを生徒たちで決めるダンス部のパフォーマンスといったプログラムが行われた。

保護者や近隣の方々が多く訪れた二日目、音楽堂正面広場は鬼に扮した生徒を見つけてお菓子がもらえる企画「悪鬼滅殺」

「第五十六回榴祭」開催

東北学院榴ヶ岡高等学校の第五十六回榴祭が、九月五日、六日に開催された。大学泉キャンパス二号館に移転後、初の開催となった今回のテーマは「楽しめないようじゃ無理か 榴祭はね楽しまないと」。生徒たちの中にあるエネルギーを呼び覚まし、年に一度のビッグイベントを思い切り楽しもうという思いが込められた。

から開場を待つ一般の方々の姿が見られ、昼前には昨年を大きく上回る約二千人が来場。礼拝堂や野外ステージは保護者や地域の方々も一緒に盛り上がりを見せた。校舎内では全国高校鉄道コンテストで賞を獲得したジオラマ作品を展示した。

学院祭実行委員長の山本輝希さんは「開催告知のフライヤー配りは暑さとの戦いでしたが、受け取ってくれたときのうれしさをモチベーションに乗り切れた。みんなの頑張りのおかげで今年度の学院祭を終えられたことは、高校生活の中で忘れられない思い出となった」と満面の笑みで語った。

展示やポスター展で成果が発表されたほか、景品がもらえるキックターゲットや射的、ホラーハウスが出店。カフェやスイーツの模擬店は昼過ぎ

に完売になるほど盛況であった。

熱気に包まれた二日間を終え、榴祭実行委員長の村山琥優瑛さんは「今年度は新校舎での開催となつて教室や屋外スペースが広くなり、企画の方向性や出店の仕方が例年とは大きく変わったが、全校生徒で力を合わせて乗り越えることができた」と笑顔で振り返った。



学院祭が開催された。今年のテーマは「笑顔満祭」。文字通り全校生徒はもちろん、来場したすべての人が笑顔に満ちあふれる学院祭になることを表現した。

初日の午前中は在校生向けのプログラムが組まれ、礼拝堂で開会式や音楽部、放送部、ディベート部などが活動の成果を発表した。保護者と同校関係者が来場した午後、礼拝堂でチャームデザインチーム「Luminas(ルミナス)」がパフォーマンスを披露し、野外ステージではカラオケ大会も行われた。二日目は早い時間

から開場を待つ一般の方々の姿が見られ、昼前には昨年を大きく上回る約二千人が来場。礼拝堂や野外ステージは保護者や地域の方々も一緒に盛り上がりを見せた。校舎内では全国高校鉄道コンテストで賞を獲得したジオラマ作品を展示した。

学院祭実行委員長の山本輝希さんは「開催告知のフライヤー配りは暑さとの戦いでしたが、受け取ってくれたときのうれしさをモチベーションに乗り切れた。みんなの頑張りのおかげで今年度の学院祭を終えられたことは、高校生活の中で忘れられない思い出となった」と満面の笑みで語った。

展示やポスター展で成果が発表されたほか、景品がもらえるキックターゲットや射的、ホラーハウスが出店。カフェやスイーツの模擬店は昼過ぎ

に完売になるほど盛況であった。

熱気に包まれた二日間を終え、榴祭実行委員長の村山琥優瑛さんは「今年度は新校舎での開催となつて教室や屋外スペースが広くなり、企画の方向性や出店の仕方が例年とは大きく変わったが、全校生徒で力を合わせて乗り越えることができた」と笑顔で振り返った。

2026年度 推薦・一般入試生徒募集概要 (東北学院中学校・高等学校、榴ヶ岡高等学校)

試験種別	募集定員	日程	お問い合わせ先	
中学校	一般入試(前期)	願書受付/12月1日(月)~12月19日(金)正午 試験日/1月7日(水) 合格発表/1月8日(木)17時	〒983-8565 仙台市宮城野区小鶴字高野123番1 TEL:022-786-1231(代) FAX:022-786-1460	
	一般入試(後期)	願書受付/1月13日(火)~1月21日(水)正午 試験日/1月24日(土) 合格発表/1月26日(月)17時		
高等学校	推薦入試	◆特別進学コース自己推薦→男女60名程度(自己推薦入試・一般入試合計) ◆TG総進コース推薦 ・第I類→男女50名程度 ・第II類→男女若干名	願書受付/12月22日(月)~1月8日(木)正午 試験日/1月14日(水) 合格発表/2月4日(水)17時	
	一般入試	男女360名(一般A・B日程、推薦入学者及び併設中学校進学者合計) ※ただし、特別進学コースは60名程度(一般入試・自己推薦入試合計)		願書受付/12月22日(月)~1月21日(水)正午 試験日/【A日程】1月29日(木) 【B日程】2月2日(月) 合格発表/2月4日(水)17時
榴ヶ岡高等学校	特待生入試	◆特別進学コース30名	願書受付/12月22日(月)~1月6日(火)正午 試験日/1月14日(水) 合格発表/1月15日(木)15時	
	推薦入試	◆TG選抜コース30名 ◆総合進学コース60名		
	一般入試	◆特別進学コース60名 ◆TG選抜コース80名 ◆総合進学コース130名(一般A・B日程、特待生、推薦入学者合計)	願書受付/12月22日(月)~1月21日(水)正午 試験日/【A日程】1月29日(木) 【B日程】2月2日(月) 合格発表/2月5日(木)15時	〒981-3105 仙台市泉区天神沢二丁目1番1号 TEL:022-372-6611(代) FAX:022-375-6966

※上記は概要となりますので、詳細は各校の生徒募集要項をご確認ください。

学校法人東北学院では九月一日、理事長特別補佐(中大連携担当)に新任役職者の略歴は次のとおり。

理事長特別補佐(中大連携担当) 齋藤 渉氏

【略歴】二〇〇一年東北学院大学法学部法律学科卒業。同年東北学院経済学研究科経済経営専攻修士課程修了。二〇二三年東北学院大学教養センター講師。同年高等教育開発室副室長。

東北学院 役職者人事が決定

学校法人東北学院では九月一日、理事長特別補佐(中大連携担当)に新任役職者の略歴は次のとおり。

理事長特別補佐(中大連携担当) 齋藤 渉氏

【略歴】二〇〇一年東北学院大学法学部法律学科卒業。同年東北学院経済学研究科経済経営専攻修士課程修了。二〇二三年東北学院大学教養センター講師。同年高等教育開発室副室長。